

## 令和4年度東京都・品川区合同総合防災訓練に展示参加しました

令和4年度東京都・品川区合同総合防災訓練が9月3日(土)と4日(日)に、品川区内の各会場で開催され、緊急地震速報利用者協議会は(一財)気象業務支援センターとの共同事業として、3日(土)の林試の森公園で開催された展示・体験等訓練に、会員の皆様に協力頂き参加しました。

今回の訓練は、狭隘地区を有する品川区の地域特性を踏まえた訓練の実施による防災力の向上と、近年防災分野においても発展が進んでいるデジタル化(防災DX)を取り入れた訓練を実施することとして、「住民等による自助・共助」、「行政及び関係機関の連携」を統一テーマとして開催されました。

昨年がコロナの影響で直前中止となったため、今年は「2年ぶりの」訓練でしたが、今回も、コロナ感染症対策から「三密」とならないよう、会場内の一般来場者数を限定するなど、細心の注意を払いながらの開催でした。

前日の雨で水たまりが残るなど足場の悪いところも多々あり、各機関は事前準備に苦勞する中での展示訓練となりました。また、人数制限や全体会場が狭隘で、避難・救助訓練が翌4日(日)と分散されたこともあり展示ブースの来場者はあまり多くなく、配布した「緊急地震速報利用の手引き」も100部ほどと例年の1/3ほどでしたが、協力会員の皆さまには丁寧に対応してもらいました。



【写真】展示、説明風景

今回の訓練では、当日の参加者全員には「コロナ感染防止のためのチェックリスト」の提出、開催日から2週間の経過観察、など、徹底した感染防止対策が取られています。来年こそは、人数制限等のない通常的环境での訓練となることを期待しています。

今回、コロナ禍の中ご協力頂いた(株)ANET、(株)テレネット、(株)南海電設の皆様に深く御礼申し上げます。